

令和2年12月21(月)、高知県梼原町で台風の豪雨に伴い発生が懸念される土砂災害を想定した合同対応訓練を実施しました。
本訓練では、**梼原町に大型台風が直撃した際に発生する様々な土砂災害の対応や大規模土砂災害が発生した際の関係機関との連携等**を確認しました。訓練は、**四国地方整備局、四国山地砂防事務所、梼原町**が主体となって実施し、梼原町の**建設協会、消防団**にもご参加いただき、また高知県、梼原町職員、社会福祉協議会、各地区自主防災組織の方々にも見学をしていただきました。(総勢35名)

地方自治体を対象とした訓練

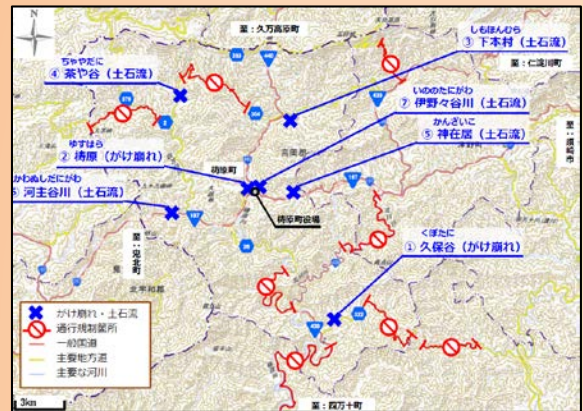
今回の訓練では、地方自治体の地域防災力向上に資することを目的として、災害発生前から災害発生後まで、各ケースごとの対応について、梼原町や関係機関に質問し、回答していただく「学習型訓練」を採用し、各機関の対応状況が目に見える形で訓練を実施しました。
訓練では、豪雨の影響により梼原町内で同時多発的に発生する災害を想定し、災害発生時や状況調査後の情報を、各関係機関が適切に共有しているか。また、道路啓開や孤立解消に向け、各関係機関と連携した対応が行われているかを確認しました。



梼原町長あいさつ
吉田 尚人



訓練状況 (新型コロナウイルス対策)



同時多発的な災害 (想定)



大規模土砂災害発生時の対応について

大型台風に伴う豪雨により、梼原川で河道閉塞(天然ダム)が形成されるといふシナリオを想定し、国土交通省としての対応について説明しました。
さらに、河道閉塞(天然ダム)形成後に必要となる監視・観測手法や応急対策工法について検討しました。検討内容について、梼原町長をはじめ参加者より積極的な質問をいただき、さらなる防災意識の向上に資することができました。



想定の河道閉塞 (天然ダム)